

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【公表番号】特表2002-525724(P2002-525724A)

【公表日】平成14年8月13日(2002.8.13)

【出願番号】特願2000-570726(P2000-570726)

【国際特許分類】

G 06 T 5/20 (2006.01)

H 04 N 5/208 (2006.01)

【F I】

G 06 T 5/20 B

H 04 N 5/208

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月6日(2006.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】元の入力画像から近似画像を形成し、前記近似画像と前記入力画像の差分を作ることにより、事前強調マップを形成し、画像強調技術に従って前記事前強調マップを強調し、それにより強調済みマップを形成し、および前記強調済みマップと前記近似画像を組み合わせて、強調済み画像を生成する方法。

【請求項2】入力画像の近似画像を生成するように構成されたアプロキシメータと、前記アプロキシメータに結合された差分マッピング・モジュールであって、前記入力画像および前記近似画像から事前強調マップを生成するように構成された差分マッピング・モジュールと、

前記差分マッピング・モジュールに結合された強調モジュールであって、前記事前強調マップを強調し、そこから強調マップを形成するように構成された強調モジュールと、

前記強調モジュールに結合されたコンストラクタであって、前記強調済みモジュール・マップと前記近似画像を組み合わせて、それらから前記入力画像の強調済みバージョンを出力するように構成されたコンストラクタとを備えるシステム。

【請求項3】プロセッサによって実行されたときに、

入力画像から近似画像を生成させ、

前記近似画像と前記入力画像の差分を作ることにより、事前強調マップを生成させ、

前記事前強調マップを強調し、強調済みマップを形成させ、および

前記強調済みマップと前記近似画像を組み合わせて強調済み画像を形成させる命令が記憶されているコンピュータ可読媒体を含む物品。